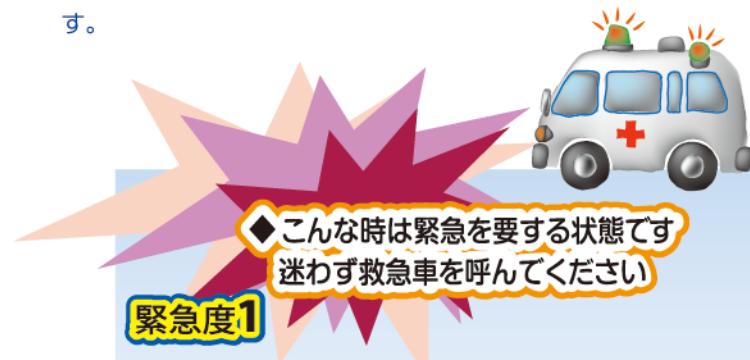


1. 救急車を呼ぶ時

- 緊急に医療機関へ搬送しなければならない場合は、迷わずすぐに救急車を要請してください。
- 救急車を呼ぶ状態は、精密検査や入院治療ができる病院への受診です。阪神北広域こども急病センターでは対応できない病状です。



- 意識がない、意識がおかしい、呼んでも反応しない
- 呼吸をしていない、呼吸が弱い、呼吸ができない(呼吸困難が著しい)
- チアノーゼがひどい(唇の色が紫色)
- 大量の出血・下血
- お腹がパンパンに張って、意識がおかしい
- 股のつけね、陰のう部が腫れて色が変わっている、不機嫌、元気がない
- 41.5℃以上の高熱で、いつもの様子と明らかに違う

◆ 救急車の呼び方

—次の要領で通報してください—



- | | |
|------------------------|--|
| 1. | 119番にダイヤルする |
| 2. 「火事ですか?
救急ですか?」 | ▶ 「救急です」と答える |
| 3. 「どうされましたか?」 | ▶ 子どもの様子を伝える |
| 4. 「住所・氏名を
教えてください」 | ▶ ○○市/区○○町○○番地です
(近くに目印となるものがあれば説明する) |
| 5. | 電話を切ってよいか確認
してから、電話を切る |

—救急車が到着するまでにすること—

1. 処置の指示があれば、それを行なう
2. 協力者がいるときは、外で救急車の誘導をしてもらう
3. 健康保険証・母子手帳・お金(診察代・帰りのタクシー代など)
・診察券を用意しておく

お願い

救急車の適正な利用をお願いします。

- 救急車の利用ルールとマナーを守りましょう。